

【区長からのごあいさつ】

4月1日付で、手稲区長に就任いたしました坂田です。

手稲区は、市内でも極めて自然に恵まれた地域であり、区のシンボルでもあります雄大な手稲山の懷に抱かれた、ふるさとの薫り高い、すてきなまちです。

私たち区役所職員一同は、まちづくりの主役である「人」を尊重し、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりを推進することにより、区民の皆さんが「住んでいて良かった」と実感できるような“ふるさと手稲”づくりに向けて努力を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。



手稲区長 さかた 坂田 かずのり 和則

まちづくり の目標

- ①「人」「情報」「資産」などを活かして、魅力ある“ふるさと手稲”づくりを進めます。
- ②地域の皆さんと力を合わせて、区民が主役のまちづくりを進めます。

運営方針2



質の高い行政サービスの提供

市民自治によるまちづくりを推進する職員の能力向上・育成に努めます。

また、今まで以上に効率的で公正かつ透明性の高い行政サービスの提供に努めます。

【重点取組項目】

「親切ていねイ」な行政サービスを提供するための職員の育成

《実施事業》

I 区役所改革

1 「市民サービスアップ」の推進と向上

- ・市民が主役のまちづくりに向けて活躍できる職員の育成を目指します。
- ・職場間の情報共有を進めて、市民サービスに役立っています。
- ・「親切ていねイ運動」を継続的に推進します。

2 障がいのある方を講師とした職員研修の実施

II 適正・確実な事務の推進

1 国民健康保険の収納率の向上

2 選挙の執行と啓発



▲【次世代育成支援事業】小中高生が赤ちゃんとの出会いを通じて、親になる準備を進めるための「赤ちゃんってすごい！」事業を実施します。



▲【地域の健康づくり推進事業】ウォーキング、運動体験、健康講演会などの健康づくり事業を推進します。



▲【市民サービスアップの推進と向上】わかりやすいパンフレットの作成や職員研修を通してサービスアップを目指します。

「ていね夏あかり」が今年で20年目を迎えます！

手稲の夏の風物詩となった「ていね夏あかり」は、平成4年から始まり今年で20年目を迎えます。

このイベントは、手稲の子どもたちが中心となって製作した「ちょうちん」を一斉に飾り、手稲の夜を彩ることで、子どもたちに夢と感動を与え、“ふるさと手稲”への愛着を育むことを目的としています。

現在は手稲区内全小学校と児童会館、福祉施設や老人クラブなど、世代を超えたさまざまな団体が「ちょうちん」作りに取り組んでいます。

その壮大で厳粛な造形空間の美しさは高く評価され、平成9年には「札幌市都市景観賞特別賞」、19年には「北のまちづくり賞北海道知事賞」を受賞し、20年には「まちづくり功労者」として、国土交通大臣より表彰を受けました。

手稲区では、“ふるさと手稲”を象徴する「ていね夏あかり」を、子どもたちの夢と希望と感動を未来へ届けるため、引続き応援していきます。